

「手彫」以降の凹版切手

井戸垣 俊弘

切手の「美」は、方寸に込められた3つの要素、(a) 大胆にトリミングされたデザイン、(b) 有限の色数による無限かつ微妙な色彩表現、(c) 上質感を高める鋭く絶妙な描線、にあると言われます（「美の壺／NHK出版」）。

この(c)の代表例が手彫りのエッチングで制作された日本最初の「竜文切手」です。その後、(b)の要素を取り込む各種の凹版技術が開発されたのですが、技術的な難しさや制作コストが高いことなどから日本での凹版切手の発行が近年減少傾向にあるのは愛好家にとっては誠に残念なことです。

ここでは、切手発行150年を迎えたこの機会に、「手彫り切手」以降現在までに発行された凹版切手を各種凹版技術の発展という観点から整理してみました。スペースの都合で、記念・特殊切手については印刷技術上エポックメイキングなものに限りましたが、普通・航空切手については発行された殆ど全てを網羅したつもりです。なお、「手彫り切手」については回を改ためてご紹介します。

凹版印刷形式の分類

ご承知の通り印刷方法は大きく分けると凸版、凹版、平板印刷に分類されますが、このうち凹版印刷は更に以下のように分類されます。

- ① 彫刻凹版：ビュラン／エッチング → (純粹) 凹版
- ② 写真凹版：ドット(セル)で構成 → グラビア(凹版)
- ③ 特殊凹版
 - ・①と②を同一版面で併用 → 諧調凹版
 - ・②のドットを線で描く → 局式凹版
- ④ その他(他の印刷形式との重ね合わせ)
 - 凹・平版, 凹・グ版, 凹・凸版, 凹・ドオ版

なお、印刷の行程に転写(オフセット)がある場合はインクの洗い流しの有無によって

- ・湿式オフセット(オフセット)：平板印刷で用いる(平版の別称)
 - ・乾式オフセット(ドライオフセット)：凸版印刷の転写に用いる
- と区別されます、また、凹版の多色化に関しては
- ・色別の版の重ね刷り → 重ね刷多色凹版
 - ・一つの版での一度刷りの多色印刷
 - 手動の手彩色 → 手彩色多色凹版
 - 自動彩色機(ザンメル機)での彩色 → ザンメル凹版

という呼び方をするようです。

今回のご紹介の概要

以上の分類を踏まえたうえで、当日は、以下の（１）～（６）を中心にご説明します。

- （１）「日清戦勝」： 【リーフ１】
エッチングによる凹版第1号は「竜文切手」ですが、**ビュラン彫刻による凹版第1号**の切手は「日清戦勝・4種完（1896.8.1）」です。第1号切手に敬意を表して、見本、布告、初日カバー等も揃えてみました。この切手はシートの切手間にガッターと呼ばれる空白部分の有るのが特徴で、普通切手ではこれが唯一の例です。
- （２）「郵便創始75年・小型シート」： 【リーフ２】
手彩色多色凹版（1次印刷）と手彩色重ね刷多色凹版（2次印刷）の両方が存在する珍しい例で、1次印刷の割合は全体の2%と極めて少なくここでは鑑定書付きなのがミソ。
- （３）各種の凹版印刷形式の第1号切手： 【リーフ３】
リーフには主なもののみを示しましたが、外にも凹・ドオ版第1号「歌舞伎・助六」や**小型シートの手彩色多色凹版第1号**「通信記念日制定」等があります。
- （４）普通切手の高額面切手： 【リーフ４】
・菊切手や田沢切手時代の最高額面切手として神功皇后を描いた「旧高額切手」と「新高額切手」はいずれも**普通切手におけるビュラン彫刻凹版第1号**です。
・産業図案と昭和透かしなしには「100円電気炉」「500円機関車製造」他があり、特に後者は当時としては破格の高額面切手でした。
- （５）昭和切手・新昭和切手： 【リーフ５】
・昭和切手の高額面には「5円藤原鎌足」「10円梅花模様」があります。
・新昭和切手の高額面には「10円螺鈿」「50円能面」「10円／100円梅花模様」があり銘や透かしのバラエティも豊富ですが、ここでは「梅花模様」の例を示します。
- （６）動植物国宝以降の普通切手と航空切手： 【リーフ６】
・動植物国宝以降になると普通切手にも凹・グ版が出現しますが、**普通切手凹・グ版第1号**は「1000円吉祥天立像（1975.4.22）」です。
・航空切手では初期の「芦ノ湖航空・5種完」と「キジ航空5種完（銘違いを含めると6種完）」の2シリーズがいずれも重厚な凹版印刷で発行されています。

こうして見てくると、凹版印刷切手のすばらしさをあらためて再認識する次第。「特殊鳥類・小型シート（1984.12.10）」を最後に途絶えていた（**純粋**）凹版切手が32年振りに「日本建築シリーズ」で復活しましたが、今後も引き続き凹版切手の継続した発行を期待する次第です。

主な参考文献

1. 「新版・切手と印刷」（印刷局朝陽会：1977）
2. 「郵便創始75年小型シートの製造／郵趣研究 Vol.77」魚木五夫
（日本郵趣協会：2007）
3. 「日本普通切手専門カタログ Vol.1/Vol.2」（郵趣サービス社：2016/17）

日清戦勝・4種完 (1896.8.1) : ビュラン彫刻による凹版第1号



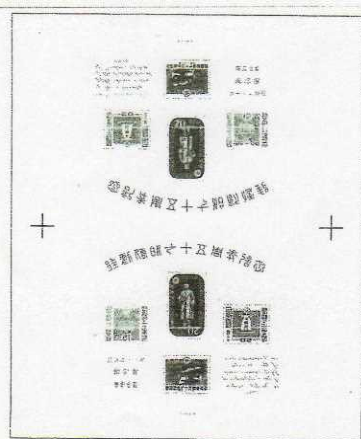
日清戦勝・4種完貼初日カバー

(2字 YOKOHAMA) 裏に明治銀混5銭P貼 独宛書留便

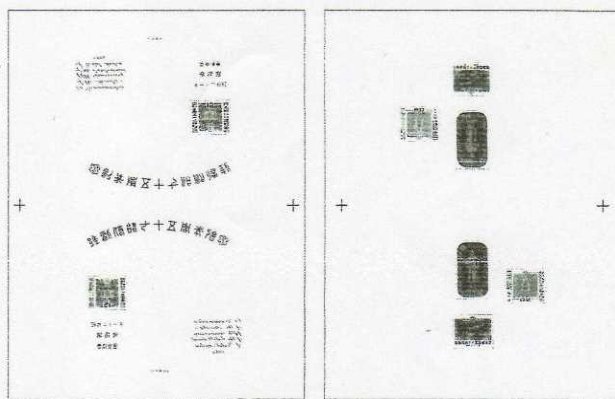


郵便創始 75 年小型シート (1946.12.12) : 1 次印刷 (手彩色多色凹版第 2 号)

／鑑定書付き



1 次印刷 (原版 1 枚)



2 次印刷 (原版 2 枚)

各種の凹版形式で印刷された第1号切手

赤十字国際会議 (1934.10.1) : 凹・凸版



紀元 2600 年 (1940.2.11/11.10) : 局式凹版



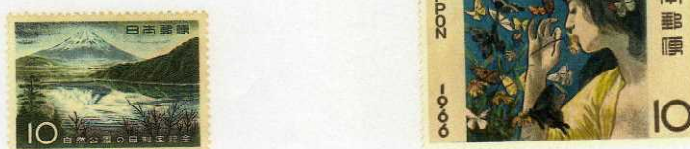
別府観光 (1949.3.10) : 重ね刷り多色凹版

立太子礼 (1952.11.10) : 凹・グ版



自然公園の日制定 (1959.7.21) : ザンメル凹版

趣味週間・蝶 (1966.4.1) : 局式凹・グ版



政府印刷事業 100 年 (1971.11.1) : 諧調凹版

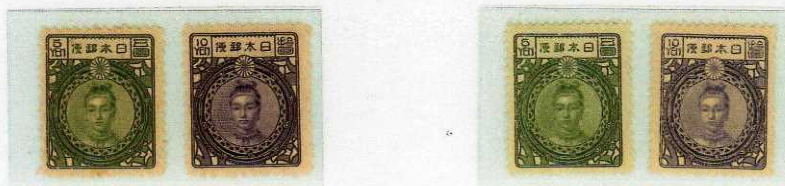
文楽・阿波の鳴戸 (1972.3.1) : 諧調凹・ドオ版



旧高額切手：凹版 / 白紙 (1908.9.20) / 毛紙 (1914.5.20)



新高額切手：凹版 / 大正毛紙 (1924.12.1) / 昭和自紙 (1937.11.1)



産業図案：凹版

/ 100円電気炉 (1949.10.15) 銘⑩

/ 500円機関車製造 (1949.2.26) 銘⑪



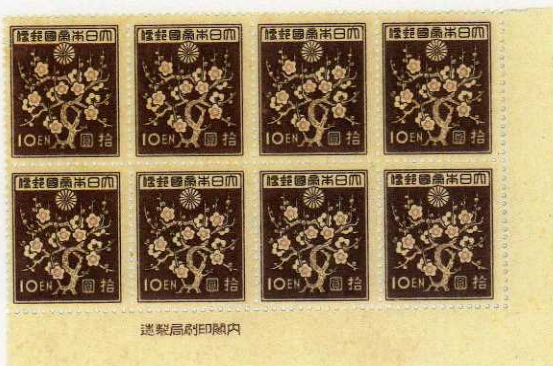
昭和透かしなし：凹版

/ 100円電気炉 (1951.12.27) 銘⑫

/ 500円機関車製造 (1952.3) 銘⑫ 銘⑬



10円梅花模様 / 第1次昭和 (1939.9.21) : 凹版



/ 第3次昭和 (1945.8.?) : 平板

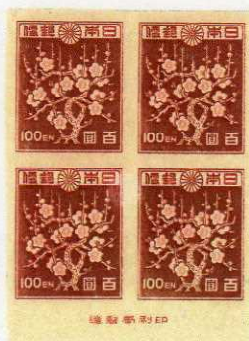


/ 第1次新昭和 (1947.3.7) : 平板



100円梅花模様 : 凹版

/ 第1次新昭和 (1947.1.15)



/ 第2次新昭和 (1947.7.?)



銘⑦造製局刷印

銘⑩印刷局製造

航空切手・芦ノ湖航空・5種完（1929.10.6/1934.3.1）：凹版

